

利用・用途・応用分野

インフルエンザやウイルス感染に伴う気管支喘息の治療、予防

目的・課題

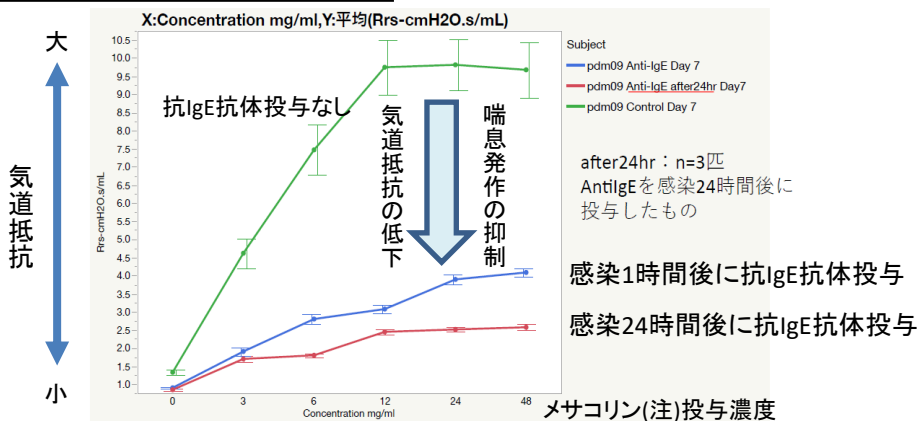
インフルエンザには、様々なタイプが存在するがA (H1N1)pdm09インフルエンザによる重篤化が最も大きく、有効な対処法の実現が早急に求められている。

気管支喘息患者がインフルエンザに罹患すると喘息の発作が始まると同時に喘息症状が急激に悪化する。現在は吸入ステロイド薬による処置が行われているが、安全で簡便且つ即効性の高い薬剤又はその対処方法が求められている。

ウイルス感染に伴う気管支喘息発作の治療剤や細菌の感染に伴う鋳型気管支炎の予防剤を提供することを目的とする。

解決ポイント

- ◆気管支喘息モデルマウスにインフルエンザウイルス(A (H1N1)pdm09)を感染させた後に抗IgE抗体を投与すると、コントロール抗体と比較してメサコリン刺激に対する気道収縮反応を抑制し、気管支内における粘液栓発生の抑制効果があることを見出した。
- ◆気管支喘息がインフルエンザウイルス(A (H1N1)pdm09)罹患により喘息発作並びに喘息の重症化することを抗IgE抗体の投与により抑制する。



研究概要・アピールポイント

- ◆免疫グロブリンE(IgE)に結合する抗体を有効成分とするウイルス感染に伴う気管支喘息発作の治療剤、ウイルス又は細菌の感染に伴う鋳型気管支炎の予防剤を調整する。

◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティ・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp